個人装備はすべて各自でご用意ください。出発前に、月とルートの現在の状態を考慮して、履物のモデル、登山靴とアイゼンの相性、ピッケル、寝袋についてガイドと相談してください。一式のうち不足するものがある場合は、登山装備のレンタル条件を事前に調べ、海外への旅行に合わせて品物を用意してもらえるかどうかを確認してください。登山靴、アイゼン、ピッケルは、出発前にあわせて試してください。 書類

パスポート
航空券または電子航空券の控え
登山と5137m以上への登頂をカバーする医療保険
スマートフォンとクラウドストレージに保存した書類のデジタルコピー
防水の書類ケース

個人装備

30〜50リットルのリュックサック
快適使用温度が-10 °C以下の寝袋
バスケットの直径が70mm以上の折りたたみ式トレッキングポール
防水のリュックサックカバー
衣類と電子機器用のドライバッグまたはライナーバッグ

技術装備

選んだ靴に対応するアイゼン
クラシックのピッケル

アイゼンとピッケルは、特に六月などシーズン早い時期の出発で重要です。それ以降の日程で必要かどうかは、ルートの実際の状態によります。最終判断はガイドが行いますので、合意した技術装備を、自分の判断で荷物から外さないでください。 衣類と履物

シーズン早い時期の出発には、ガイドと合意のうえで、ダブルのプラスチック製または革製の登山靴夏の登頂には、アイゼンが使える信頼できるソールを備えた、防水のトレッキングブーツまたは軽量の登山靴
町とホテルで使う軽い予備の履物
フード付きの防水シェルジャケット
防水シェルパンツ
フリースジャケットまたはフリースの上下セット
ベースレイヤーの上下
フード付きの暖かいダウンジャケット
速乾性のトレッキングパンツ
速乾性のTシャツまたは長袖シャツ
薄手の手袋
暖かい手袋
バフまたはバンダナ
暖かい帽子
日よけ帽子
登頂日用の暖かいトレッキングソックス
予備の下着とトレッキングソックス
ゲイター

便利な持ち物

バッテリー持続時間が12時間以上のLEDヘッドランプ
ヘッドランプ用の予備の電池一式、または充電式電池
紫外線カットのサングラス
風、雪、視界不良に備えたスキーゴーグル
容量1リットルの魔法瓶（プッシュボタン式の蓋でないものが望ましい）
容量1リットルの保温性のある繰り返し使えるボトル
顔の下半分を覆う防風マスク、または暖かいスカーフ

日焼け止め
日焼け防止機能付きのリップクリーム
モバイルバッテリーと充電ケーブル
速乾タオル
身の回りの洗面用品とウェットティッシュ
使い捨てカイロ（任意）
ご自身の健康状態に合った個人用救急セット
弾性包帯、または個人用のサポーター

高所登山の装備の選び方と、山での個人用救急セットについての当社の記事もあわせてお読みになることをおすすめします。